

## 通知票の見方について

### 1 観点別評価について

各教科4つ～5つの観点について、その習得状況をA・B・Cの3段階で評価してあります。学級や学年の順位で評価するのではなく、1人1人の生徒が各教科の学習目標にどこまで到達したか、学習内容をどこまで理解しているかを評価しています。

A	十分目標を達成している。
B	おおむね目標を達成している。
C	努力を要する。

### 2 評定について

各教科の観点評価をもとに総合的に判断して、学習内容全般をどれくらい理解し、できるようになったかなどを表すために、5段階評価を行っています。

5	学習内容を十分に満足できるもののうち、特に高い程度で達成できている。
4	学習内容を十分に満足できる程度で達成できている。
3	学習内容をおおむね達成できている。
2	学習内容は十分に達成できておらず、努力を要する。
1	学習内容は十分に達成できておらず、一層の努力を要する。

### 3 所見について

具体的な学びの様子や今後の課題などについては、文章表記による所見をご覧ください。各教科の所見は、3学期を通して1回以上記載されることになっています。

### 4 その他

- (1) 技術家庭科は【前期・後期】で評定を付けます。【前期】分は2学期末、【後期】分は3学期末に評定が記載されます。
- (2) その学期に学習しなかった項目については、該当の欄に斜線が入っています。
- (3) 通知票の評価は、これまでの自分の学習への取り組みを振り返り、成果と課題を自覚しながら、今後の学習の一層の充実をはかる指針となるべきものです。自分の目標を定めて、学習へのよりよい取り組み方を考えながら、実行に移していくことが大切です。